

CEDI-WGの活動報告

2025年5月20日
CEDI-WG

CEDI-WGの活動報告

1. CEDI-WGのミッション
2. CEDI-WG 2024年度の活動報告
 1. 2024年度活動体制・スケジュール
 2. 2024年度活動実績
 3. EDI入門セミナー(2024/7/2開催)
 4. CEDI-WG活動テーマ検討とタスクフォース立ち上げ検討
 5. CEDI-WG活動テーマと結果
 6. 石化協認定のEDIサービス事業者のサービス一覧
3. CEDI-WG 2025年度の活動計画

参考資料

1. CEDIから提供可能なEDI仕様文書
2. 次世代データ基盤検討タスクフォース 企画書

1. 石化協EDI標準(Chem eStandardsとJPCA-BP)の維持管理

- ・石化協EDI標準の維持管理(標準を利用している企業からの標準改定要請対応)
- ・EDI環境変化への対応
- ・CEDIから提供可能なEDI仕様文書の管理

2. 標準遵守意識の喚起・向上

- ・CEDI/ITフォーラム 及び EDI入門セミナー の開催

2. CEDI-WG 2024年度の活動報告

1. 2024年度活動体制・スケジュール

(敬称略)

委員長：市村雄二（三菱ケミカルグループ 執行役シニアVP CDO）

主 査：佐野吉邦（同 デジタルストラテジックプランニング本部長）

※2025/4/1より委員長兼主査 井深浩に交代（三菱ケミカル(株)デジタル統括本部デジタルプランニング部長）

外部の関係団体

CEDI-WG：河口貴広（三菱ケミカル）

石化協標準の維持管理
標準遵守意識の喚起・向上（フォーラム、セミナー）

OAGi (Open Applications Group, Inc.)

<https://oagi.org/>

JiEDIA（インターネットEDI普及推進協議会）

<https://www.jisa.or.jp/tabid/2822/Default.aspx>

GSCM-WG：笠原浩平（レゾナック）

(Global Supply Chain Management)

GSCMへのICT利活用に関する調査研究
貿易手続きの電子化を研究

2024/12月末をもって活動終了。「次世代データ
基盤検討」タスクフォースへ活動を引き継ぐ

JEC（国連CEFACT日本委員会）

サイバーセキュリティWG：後藤教彰（三井化学）

化学は国から「重要インフラ(*)」に指定
サイバーセキュリティ基本法に基づく努力義務

NISC（内閣官房内閣サイバーセキュリティセンター）

セプターカウンシル（＊情報通信、金融、航空、
空港、鉄道、電力、ガス、政府・行政サービス、医療、水道
、物流、化学、クレジット、石油、港湾 の15分野）

2. CEDI-WG 2024年度の活動報告

- ・2024年度は、下表のとおり、計9回WGを開催しました。（リアル＆オンライン開催）
- ・後述しますが、GSCM-WGとの協業検討の結果、「次世代データ基盤検討」タスクフォース(以下TF)をCEDI-WG傘下に設置することとなりました。

	2024年							2025年				
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
全体事項	7/2（前年度）EDI入門セミナー ★9/5 GSCM協業検討 ★10/2 TF設置の企画 ★11/1 TF企画書レビュー							★12/2幹事会 TF設置承認 ★12/6臨時情報通信委員会承認 5/20(火)★CEDI/ITフォーラム 5/30★情報通信委員会				
CEDI-WG	★6/11 ※2023年度最後 ★①7/9 8月は休会 ★②9/10 ★③10/8 ★④11/12 ★⑤12/10							1月は休会 ★⑥2/18 ★⑦3/11 ★⑧4/8 ★⑨5/13				

2. CEDI-WG 2024年度の活動報告

2. 2024年度活動実績

- ・以下の通り活動を実施しました。
- ・2023年度にてインボイス対応などの大型対応が一段落したこと、TF設置対応等の都合から1月と8月は休会としました。

会議	日付	参加人数	主な活動内容
第1回	2024/7/9	19	EDI入門セミナー結果報告/2024年度活動テーマ検討
第2回	2024/9/10	21	市村委員長講話/GSCM-WGとの協業協議/2024年度活動案アンケート結果
第3回	2024/10/8	16	TF設置方針の報告/活動テーマ再検討
第4回	2024/11/12	18	テーマ：FAXのEDI/Web注文化率向上 に決定
第5回	2024/12/10	17	焦点を当てたいテーマのアンケート結果発表
第6回	2025/2/18	20	Web-EDIの活用や統合発注サイトの実現に向けた考察 多画面問題の克服、さらなる情報提供による価値向上／コスト改善
第7回	2025/3/11	18	Web開発ガイドライン/業界VANインテック社事例紹介
第8回	2025/4/8	17	DAL社/OGIS社事例紹介/各社情報共有
第9回	2025/5/13	19	技術仕様適合認定制度審査/ITフォーラム資料レビュー

2. CEDI-WG 2024年度の活動報告

3. EDI入門セミナー(2024年7月2日開催)

2024年7月2日（火）にEDI入門セミナーを開催しました。開催結果について報告いたします。

- ① 開催日時 : 2024年7月2日（火） 15:30 – 17:00
- ② 開催方法 : TEAMSによるオンライン開催
- ③ 参加人数 : 17社 56名
- ④ 講師 : JNシステムパートナーズ 井田さん、インテック吉澤さん

参加者組織区分	2024年	2023年	備考
会社数	17	14	
応募者数	64	90	
出席者	56	84	
会員	43	73	
協力会社	5	4	
外部	8	7	当日出席（3）を含む
事務局	5	5	講師を含む
欠席	8	6	

2. CEDI-WG 2024年度の活動報告

実施後アンケート結果は以下の通り(5点満点)

アンケート内容	今年度	昨年
1. セミナーの内容は理解できましたか？	3.92	3.82
2. 内容のレベルはいかかでしたか？	3.77	3.24
3. セミナーの時間はいかがでしたか？	4.15	3.35
4. セミナーは役に立ちましたか？	4.07	4.24
5. 資料はいかがでしたか？	4.62	4.00
6. 今回セミナーに参加した動機は何ですか？	コメントのみ	コメントのみ
7. 全体としてご満足いただけましたか？	4.69	4.06

<アンケート コメント抜粋>

- ・化学業界の枠組みにおけるEDI利用の全体像について理解できました
- ・化学業界におけるEDI標準がどのようなものか、アウトラインを理解できました
- ・化学業界のスケジュール、ゴール（グランドデザイン）のようなものがあれば、より理解が深まる
- ・セキュリティ関係が難しかった
- ・最近のEDIトピックについては今後の展開の情報を知ることができてよかった
- ・歴史から今後の活動までを短時間で凝縮されており若手教育などにも利用できそう

2024年度の入門セミナーは、2025/7/11開催予定です。

アンケートコメントも参考に見直しを行い実施したいと考えております。

4. CEDI-WG活動テーマ検討とタスクフォース立ち上げ検討

2023年度にてインボイス対応等の大規模対応が一段落しました。

2024年度以降の活動について、WGメンバーへのアンケートなどにより検討を進めました。

結果、データ連携基盤に関するテーマはTFへ、石化協標準の維持管理に関わるテーマをWGにて対応することとなりました。

<活動テーマ案>

1. <物流共同配送> 情報連携基盤の情報収集

⇒TF検討

2. GSCM-WGとの協業

⇒①③TF検討

①情報連携基盤の理解（ウラノス・エコシステム等の動向理解）

②石化協メンバー会社のニーズ把握（中小企業とEDIしたいなど、具体的にどうしたいか）

③蓄電池トレーサビリティシステムの利用

（自動車部品メーカーなどの要請で各社使わざる得ないとして、業界として取り組めることはないか。）

3. 過去アンケートをベースとした深掘り

⇒CEDI-WG

過去アンケートをもとに、さらに深掘りたい内容を今年度テーマとして選定する

- その時々、化学業界として対応しなければならないテーマ
- JPCA-BPとCeSの使い分け
- FAXのEDI化検討
- EDIそのものの定義の見直し（Webでの連携、API連携やSAPでの連携）
- 業界横断標準の検討（1 業界団体だけでは難しいが…） 等々

2. CEDI-WG 2024年度の活動報告

4. CEDI-WG活動テーマ検討とタスクフォース立ち上げ検討

<GSCM-WGの発展的解消と新TF立ち上げ>

2023年度より、合宿などを通じて、GSCM-WGとの協業を模索してまいりました。

議論を重ねた結果、GSCM-WGを発展的に解消し、次世代データ基盤検討TFを設置することとなりました。

1. 議題：「GSCM/CEDI-WG今後の在り方について」

2024年9月10日(火)
CEDI-WG第2回資料より

■ 背景

- ・GSCM-WGでは近年、新データ連携基盤として「ウラノス・エコシステム」に着目し、情報収集を行ってきた。
- ・データ連携基盤はCEDI-WGが関連性が深いため、昨年度よりCEDI-WGとの協業を模索してきた。
- ・CEDI-WGは2023年度にて2つの大型対応を完了した。(PSTNのIP網化対応/インボイス制度対応)
- ・2024年度はテーマを模索している状況。(共同配送/GSCM-WG協業/アンケート 等)

■ EDIを取り巻く環境変化

- ・90年代 JPCA-BP普及 ⇒ 2000年代 CeS普及 と進み30年以上経過。
- ・JPCA-BPなどファイル連携の仕組みはレガシーとなり、今後はAPI連携が主流となりつつある。
- ・EUのCatena-Xや日本のウラノス・エコシステムが実際に利用されはじめ、プラットフォームを介した情報連携が主体になりつつある。

石化協WG活動は、石化協標準の現行維持管理のみではなく、ネクストステップに進む時期に来ている

2. CEDI-WG 2024年度の活動報告

4. CEDI-WG活動テーマ検討とタスクフォース立ち上げ検討

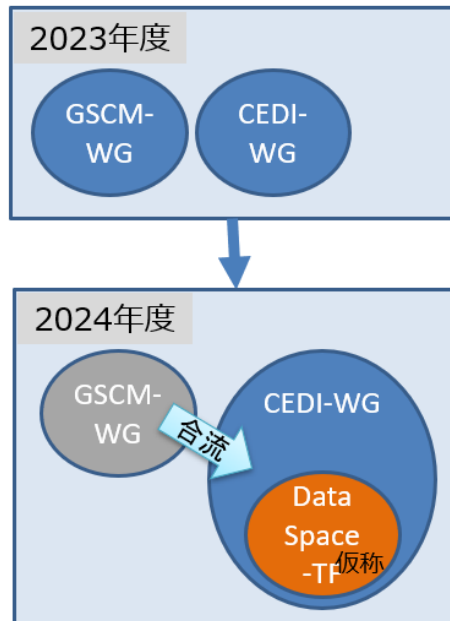
<GSCM-WGの発展的解消とTF立ち上げ>

2024年9月10日(火)
CEDI-WG第2回資料より

2. 2024年度GSCM/CEDI-WG活動 (案)

■ GSCM-WGを発展的解消とし、CEDI-WG傘下にタスクフォース「DataSpace-TF(仮称)」を設置する。

■ 活動体制



■ WG/TFのミッション

- ・WG：石化協標準の維持管理と現行環境に置ける課題検討(FAX削減/EDI推進等)
 - ・TF：共通データ連携基盤の検討(共同配送/ウラノエコシステムを軸とする)
- ※TF活動の結果、石化協で継続して活動を継続する必要がある場合、WGを設置する

■ 主な議論内容

1) 石化協標準の維持管理/次期連携基盤検討

- ・CEDI-WGで2024年度アンケートを取った結果として、共同配送/ウラノエコシステム(GSCM-WG協業)が上位だった。メンバーも協業に対して違和感はないと想定する。
- ・GSCM-WGの参加がメーカー2社と少ないため、発展的解消に賛成。
- ・過去のJPCA-BP/CeS導入の歴史を振り返ると、推進役となる数社が必要。(情報通信委員会幹事会6社に協力依頼してはどうか)

2) WG/TFどちらにするか

- ・WGを別途設置すると、WG別々の活動となり統制が取れなくなる。連携基盤はCEDI-WGと密接な関係性にあるため、TF形式が良いのではないかと。

5. CEDI-WG活動テーマと結果

第1回後のアンケート結果では、物流共同配送/GSCM-WG協業(新情報連携基盤調査)が上位でしたが、TF設置により状況が変わったため、以下のテーマを①⇒②の順に取り組むこととしました。

3. 新体制におけるCEDI-WG活動



<CEDI-WG検討テーマ案>

アンケート内容を踏まえ、以下ピックアップしました。

①FAXのEDI/Web注文文化率向上

- ・CEDI-WG活動の目的である、「石化協EDI標準の維持管理」に立ち戻り、JPCA/CeS/WebEDIの普及に向けた障害を調査。改善案を検討する。

②新技術を利用した事例の調査

- ・FAXのAI/OCR/RPA等新技術を利用した自動読み取り、基幹システム等への取り込みによる省力化事例を調査し、活用を検討する。
※中小企業のEDI化推進/FAX削減/FAXによる手作業削減等に活用できる新技術の探索を幅広く調査する。

2. CEDI-WG 2024年度の活動報告

5. CEDI-WG活動テーマと結果

「FAXのEDI/Web注文文化率向上」をテーマにアンケートを実施しました。

2024年11月12日(火)
CEDI-WG第4回資料より

質問	回答
WebEDIを利用しているか？	Yes 7社、No 1社
EDI/Web化率調査をしているか？	Yes 3社、No 4社(かつて行っていた含む)
利用規模	サイト数 ~11 取引先数 ~350 ID数 ~600
Webと基幹システムの連携方式	JPCA-BP(模倣含む)3社 その他・独自 4社 連携なし 1社
機能の主な特徴は？	受発注 6社 出荷 1社 在庫 2社 UL・DL 4社
利用している事業部(製品)は？	様々 (アクリル板系、化成品、肥料、繊維、ヘルスケア、化学素材、汎用品、樹脂製品、モノマー等)

WebEDIについては各社が活用中。ただし、サイトの数や方針は会社によって様々。1つに統合済みの会社もあれば、事業/製品ごとに複数持つ会社も。運用を考慮すると統合したいが費用/技術的課題等により困難という声も。多画面問題を認識した。(1社で製品ごとにWeb画面/商社視点でみるとメーカーごとにWeb画面)

2. CEDI-WG 2024年度の活動報告

5. CEDI-WG活動テーマと結果

EDI/Web化について現況(積極推進中/停滞中/需要増加 等)

2024年11月12日(火)
CEDI-WG第4回資料より

EDI/Web	回答
EDI 増加 なし、停滞 3社	・営業部門から毎年2, 3件は新規EDIの導入打診を受ける ・取引先からの(取引終了・取引減少理由を除き)撤退打診は無い。
WebEDI 増加 4社、停滞 1社	・FAXだと担当者がシステムに入力、確認する必要があり、工数がかかるため、推進したいとの声あり ・稼働中サイトに参加していない事業部からの新規参加要請がある。新規EDI構築よりも既存Webへの参加のほうがハードルは低い。 ・営業の負担軽減(拡販に注力したい) ・デリバリーの高齢化/残業時間削減のため導入打診がある
EDI/Web共通 増加 2社、停滞 1社	増加(顧客要望) 取引先の在宅勤務推進や近年の社内受注業務の負荷軽減の動き等によって導入企業は増加中

新規構築のハードルが高めなEDIは停滞傾向、Webサイトへの参加はハードルが低く、一定の需要あり。
社会構造の変化(在宅勤務推進/残業削減/高齢化等)による需要もある様子。
WebEDIにおいては、商社側の二重入力の問題が提起された。(商社側システムとWeb)

2. CEDI-WG 2024年度の活動報告

5. CEDI-WG活動テーマと結果

課題/課題に向けた取り組みについて

2024年11月12日(火)
CEDI-WG第4回資料より

課題	解決に向けた取り組み
コスト ・ニーズはあっても構築コストを伝えると止まることがある ・注文件数が少ないと費用対効果で困難	・ファイルEDIが困難な場合はWebへ誘導 ・Web画面に注文データが入ったCSVを一括UPLしてもらおうような、半EDI方式の事例がある
商社側の手間 ・商社側から見ると自社とWebの二重入力 ・証明書の管理など手間がかかる ・会社/商品ごとにWeb画面があり、商社側からすると煩雑	・発注業務簡素化のメリットを分かりやすく伝える為の広報動画を作成し、営業に渡している(動画は費用をかけ外注) ・EDI/Web化が困難な場合にFAXとなるが、FAX OCRを一部採用している。しかしレイアウトごとに構築が必要。
その他 ・EDI普及に回せる要員不足。また構築普及期から時間が経過し知見者も減少	UBE社のご協力を得まして、動画の実物を拝見しました。営業が説明しやすい用語/ストーリーとなっている点が秀逸でした。

主要顧客に対するEDI/Web導入の普及期は終わり、地道に広げていく状況だが、コスト/手間の問題からなかなか広がらない状況も垣間見える。EDI/Web注文化率向上に向けてさらに追加調査することとした。

2. CEDI-WG 2024年度の活動報告

5. CEDI-WG活動テーマと結果

EDI/Web化率向上に向けて、実態/普及に向けた課題の調査を行いました。
さらに、深掘して検討すべく、追加調査テーマについて、アンケートを実施しました。

2025年2月18日(火)
CEDI-WG第6回資料より

No.	検討テーマ	得票数
1	Web-EDIの活用や統合発注サイトの実現に向けた考察 多画面問題の克服、さらなる情報提供による価値向上／コスト改善	6社
2	受発注以外の取り組みの調査・検討：物流、請求/支払など	3社
3	FAX見直しの検討(脱FAX)	2社

- 
- ・統合発注サイトの事例検討、事例紹介(他業界OK/ARIBA/COUPA等)
 - ・多画面統合の事例、実績(実現に至らなくとも検討したことはないか?)
 - ・Webに付加価値を付けた情報発信の事例(チャット機能など)
 - ・ベンダー3社から提供できる情報がないか(業界問わず、統合発注サイト事例等)
 - ・Web導入によるコスト削減(発注者/受注者ともにメリットがあるか?)

2. CEDI-WG 2024年度の活動報告

5. CEDI-WG活動テーマと結果

追加調査テーマについての取り組み内容は下表の通りです。

CEDI-WG第7回～8回資料
より

テーマ	概要
統合発注サイトの事例 INTEC社より事例ご紹介 (プラネット/ファイネット)	・石化協Web-EDI開発ガイドライン(販売、購買)のご紹介 ・日用品・化粧品メーカー～卸間の業界VAN(プラネット) ・酒類・加工食品メーカー～卸間の業界VAN(ファイネット)
DAL社/OGIS社からの 情報提供	DAL社:クラウドストレージ上でのファイル共有/交換をAPI経由で実施 する仕組み OGIS社:今後のWeb-EDIに向けた考察、現行課題と解決に向けたアプ ローチ
メーカー各社からの情報提供	以下テーマについて各社より情報提供いただいた。 ①統合発注サイトの事例検討、事例紹介(他業界OK) ②多画面統合の事例、実績(実現せずとも検討したことはないか?) ③Webに付加価値を付けた情報発信の事例(チャット機能など) ④Web導入によるコスト削減(発注者/受注者ともにメリットがあるか?)

2. CEDI-WG 2024年度の活動報告

5. CEDI-WG活動テーマと結果

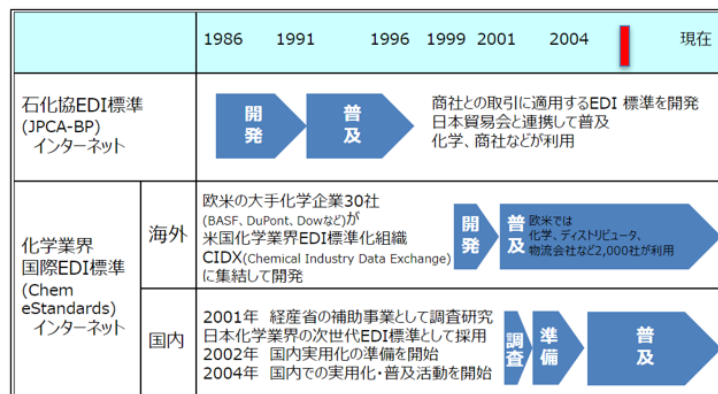
テーマ	概要
統合発注サイトの事例	・石化協Web-EDI開発ガイドライン(販売、購買)のご紹介

4. Web-EDI開発ガイドラインの紹介



＜Web-EDI開発ガイドライン制定の背景＞
ガイドライン制定の背景を振り返ります。

<https://www.jpca.or.jp/cedi/outline/history.html>



平成20年5月
2008年

石油化学工業協会

情報通信委員会・CEDI小委員会

＜概要＞

- ・CEDIのHPで公開されており2008年版。歴史を感じる。
- ・販売/購買の二種類が用意されている。
- ・CeSをベースとしている
- ・かつてのホスト⇄端末間の画面をそのままWebに焼き直した印象。
- ・2025年現在の視点で見ると古い設計のように感じたが、基本的な部分は参考になる。

5. CEDI-WG活動テーマと結果

ベンダー各社より情報提供いただきました。

テーマ	概要
統合発注サイトの事例 (INTEC社事例ご紹介)	・日用品・化粧品メーカー～卸間の業界VAN(プラネット) ・酒類・加工食品メーカー～卸間の業界VAN(ファイネット)

<観点>

- ・統合発注画面（各社ごとに異なる画面ではなく、共通のWeb発注画面）
- ・統合画面をどのように実現しているのか(製品に依存しない汎用的な仕組みをどのように実現しているのか?)
- ・Web画面に付加価値は何かないか?(コミュニケーション機能/利用各社のコスト削減につながるような機能)
- ・Web導入によるコスト削減（発注者/受注者ともにメリットがあるか?）

統合発注画面とはどのようなものか、製品/会社ごとに別々のWebにせず、統合するにはどのような考え方が必要なのか?

事例ではどのような付加価値が実現されているのか?あたりに着目できればと考えています。

2. CEDI-WG 2024年度の活動報告

5. CEDI-WG活動テーマと結果

テーマ	概要
統合発注サイトの事例 (INTEC社事例ご紹介)	・日用品・化粧品メーカー～卸間の業界VAN(プラネット) ・酒類・加工食品メーカー～卸間の業界VAN(ファイネット)

<概要>

- ・1980年代に大手メーカーが中心で共同出資し会社設立/システムを立ち上げた。
- ・メーカー約1000社、卸約500社の規模。業界VANの費用はメーカーが負担。
- ・稼働当初はファイルEDI、その後Web/FAX通知対応/出荷予定データ提供など拡張が進んだ。

<各社コメント/QA>

- メーカーのメリットは？ : 標準化された販売データ/出荷予定データの活用。1社ずつ接続するよりコスト低減。
- 統合発注の仕組みは？ : 卸は複数メーカーに対する注文を一括でだすことができる。注文の商品単位に企業コード(メーカー名)を持っているので、一括で送られてきたデータをVAN内で仕分ける。
- VAN事業成立条件は？ : メーカー各社が共同出資し、共通システムを構築できるか。一定数の参加会社数が必要では？(石化と日用品ではメーカー数が異なるか？)
- 石化協は検討したか？ : いまとなってはわからないが、結果的に石化協としてはJPCA-BPによるファイルEDIを構築した。Webは各社にて構築している状況。

5. CEDI-WG活動テーマと結果

テーマ	概要
DAL社/OGIS社からの情報提供	DAL社: クラウドストレージ上でのファイル共有/交換をAPI経由で実施する仕組み OGIS社: 今後のWeb-EDIに向けた考察、現行課題と解決に向けたアプローチ

<DAL社>

- ・クラウドストレージ上でのファイル共有/交換をAPI経由で実施する仕組み。
- ・BOXを経由しデータをアップロード、ダウンロードしてやり取りする仕組み(ファイルの連携方法)
- ・費用をかけず、Web発注に変わる用途としてどうか。BOXを経由しての納期回答にも利用できる

<QA/各社コメント>

- ・費用的にEDI構築が困難な中小企業とのデータ連携を想定したものか? ⇒Yes。EDI代替可能
- ・テキストファイルのみか? ⇒ExcelやPDFも利用できる。
- ・BOX上のデータは、取得後削除されるか? ⇒取得後削除や1日経過後削除など可能
- ・EDI用ファイルをWebにUL/DLする形の簡易的な注文/納期回答の実装例があった(1社)

5. CEDI-WG活動テーマと結果

テーマ	概要
DAL社/OGIS社からの情報提供	DAL社: クラウドストレージ上でのファイル共有/交換をAPI経由で実施する仕組み OGIS社: 今後のWeb-EDIに向けた考察、現行課題と解決に向けたアプローチ

WebEDIについての再考察

オージス総研社発表資料
より一部抜粋

- 背景

- Web-EDIは「取引先（発注者）にWeb画面からの入力を求める」構造であり、以下のような課題が指摘されている。
 - 取引先ごとに異なるWeb-EDIへのログイン・操作（多画面問題）
 - 入力を自社システムとWeb-EDIの双方で行う必要があり、二重入力の負担
 - Web画面のUIが古く、操作が煩雑



- Web-EDIが導入されていてもFAXやメールでの注文が継続され、システムの効果が十分に発揮されていない現状がある

2. CEDI-WG 2024年度の活動報告

5. CEDI-WG活動テーマと結果

オージス総研社発表資料
より一部抜粋

まとめ

- WebEDIの課題
 - 入力ではなく「整合性あるデータの受領」
- 解決の方向性
 1. 発注者が扱いやすいデータ形式をとにかく放り込んでもらう
 - Excelを活用して2重入力回避
 2. Web画面にAPIインタフェースを併設する
 - アーキテクチャを新しくしてAPI連携していく
 3. WebEDIに入力コストを上回る付加価値をつける
 - 受注後の情報を前段に見せていくことでプロセス滞留を防ぐ

手軽なExcelに発注内容入力し
WebへULする

自社基幹システムに入力した発
注内容がWebへ自動連携

例えば物流システムとAPI連携で
接続し、納入条件等情報表示

2. CEDI-WG 2024年度の活動報告

5. CEDI-WG活動テーマと結果

テーマ	概要
メーカー各社からの情報提供	以下テーマについて各社より情報提供いただいた。 ①統合発注サイトの事例検討、事例紹介(他業界OK) ②多画面統合の事例、実績(実現せずとも検討したことはないか?) ③Webに付加価値を付けた情報発信の事例(チャット機能など) ④Web導入によるコスト削減(発注者/受注者ともにメリットがあるか?)

①統合発注サイトの事例検討、事例紹介(他業界OK)

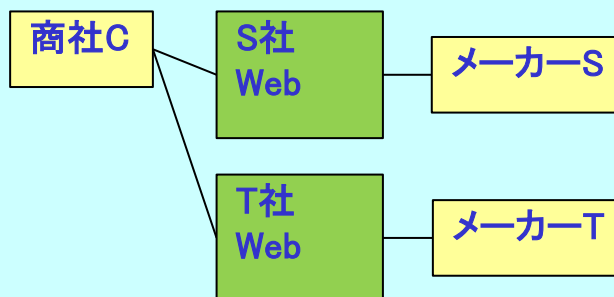
・酒類/加工食品向けVAN(FINET)、家庭用品包装業界向けVAN(HOWEDIS)、自社構築統合購買Web、WebEDIパッケージを利用した商流Web、自社構築商流Web、SAP ARIBA の利用があった。

<統合発注サイトと多画面問題>

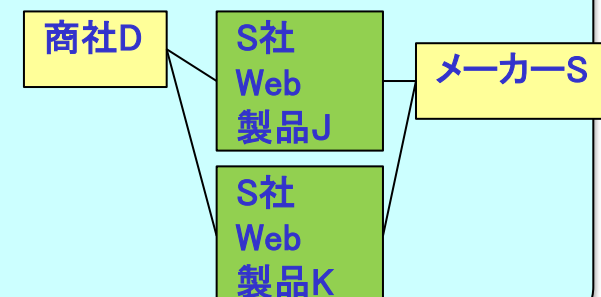
FINET/HOWEDISはこのケース



商社からみた多画面(複数社)



商社からみた多画面(複数製品)



5. CEDI-WG活動テーマと結果

②多画面統合の事例、実績(実現せずとも検討したことはないか?)

- ・合併前会社ごとにWebが3つある。基幹統合のタイミングで統合検討したが断念した。以下理由。
 - － 製品種類ごとに異なる複雑な現行仕様(ホスト時代の仕様を引き継いでいる)
 - － 出荷業務特性が異なる(1サイトは当日受注/出荷に特化、他はバッチ連携)
 - － 旧3社の仕様に明るく、事業調整もできるスキルセットを持ち合わせたメンバーが乏しい
 - － 基幹統合し、コードを揃えたうえで、次世代Webシステムへの統合を検討すべきと考えた。
- ・統合発注Webの検討/見積取得を行ったことがあるが費用が折り合わなかった。
ベンダー面談の際に多画面問題について会話したことはあるが、よい解決策はなかった。
- ・以下理由から統合検討は行っていない。
 - － 各サイトで主幹部門が異なることや、販売先がちがうためにバラバラでも特に困らない。
 - － 共通化する場合はそれぞれ機能的に我慢が必要な場合があるが我慢に対するメリットがない。
 - － 複数サイト併存による「人的手間」は掛かっているが「面倒」レベルでしかなく、コストに換算するほど統合による運用効率化が望めない。
 - － 予算がない(予算をつけるためのメリットを示せない)。
- ・一方で、最初から1サイトしかなく、成長させていく形で利用されているメーカーもあった。

5. CEDI-WG活動テーマと結果

③Webに付加価値を付けた情報発信の事例(チャット機能など)

- ・SalesForceを利用した注文システムを構築した事例あり。
- ・受注生産品など、チャットによって納期調整などを行っており、好評を得ている。
- ・商社がチャット入力すると、メールにてメーカー側に通知が行き、メールのリンクをクリックするとWebにログインしチャットが可能。
- ・稼働中のWebに障害連絡等を想定した伝言板機能はあるが、特に利用していない。

受注者側の意見(Web画面の利用状況と、何が出来ると嬉しいか、確認した結果)

- ・Web画面を利用している人もいれば、利用していない人もいう状況
→何が出来ると嬉しいか、有益な情報は無かった

発注者側から寄せられる要望、不便と感じていること

- ・大手の発注者は自社システムを使って注文書を出力しているのでCEDIが入る余地が無い。
- ・1受注先に対して、複数の得意先コードを使用している際、発注側がどれを使ったら良いか区別が出来ない。(取引条件において、業務運用上でルールを決めていると推測)
- ・納入要件、発注コメント等の項目名から何を入力する項目かわかりづらい

5. CEDI-WG活動テーマと結果

④Web導入によるコスト削減(発注者/受注者ともにメリットがあるか?)

＜受注者(メーカー)のメリット＞

- ・注文/変更/取消しデータが自動で基幹システムに登録されるので、入力工数が削減できる。
また注文状況の進捗を簡単に共有できる。(あるメーカーでは工数1/3削減という試算結果も)
- ・入力項目(やり取りする情報)が標準化するので、情報の整理及び共有するデータを活用できる。
- ・受信データのエラーチェックを自動で行うことができ、ミスに伴う対応工数を削減できる

＜発注者(商社)のメリット＞

- ・希望があれば注文から出荷請求、支払いまでをWebEDIでデータをやりとり可能となるため、パソコンとインターネット環境があれば完結できる。
- ・出荷請求はWebEDIからD/L可能、支払データはWebEDIにU/Lすれば、自動連携可能な仕組み。
ただし、元々システムで自動FAX注文できる会社の場合、人間がWeb入力するのが二度手間(自社基幹システムと弊社WebEDI)になるため注文時のメリットが少ない。

＜課題＞

- ・製品が細かい場合、品目コードが多くなるため、運用が煩雑になる。
- ・1回限りの注文の場合、設定が手間になる。
- ・通信不備があった場合の、代替対応の検討が必要。
- ・システム変更の際、対応が必要。

5. CEDI-WG活動テーマと結果

まとめ

＜EDI/Web化率向上に向けて＞

①準備:EDI/Web化率の調査/事業ニーズの確認

- ・現状を抑えることが第一歩。EDI/Web化率を調査し、分析する。
- ・特定事業/製品/商社などの切り口でターゲットを見定める。
- ・事業側へのヒアリングの際にも上記調査結果は有効。
⇒事業側だけで進められるプロモーションビデオは非常に有効なツール

②引合があれば逃さない

- ・事業側より、EDI導入の相談が来ることがある。
コスト問題で断念する確率を下げるため、松竹梅のメニューを用意してはどうか
松:JPCA-BP/CeSのファイルEDI
竹:WebEDI
梅:ファイルUPLを利用した半EDI/FAXのAI-OCR読み込み

③WebEDIの付加価値向上

- ・付加価値をつけることは有効だが、既存Webに新たな機能拡張を施すとなると費用対効果の問題が生じる。システム更新時などのタイミングを利用するのがよいのではないかな。

2. CEDI-WG 2024年度の活動報告

6. 石化協認定のEDIサービス事業者のサービス一覧

■ 認定制度への申請状況および、認定状況

2025年5月20日時点では、以下の4社9ソリューションが合格となり、2025年6月1日からCEDIサイトに企業名、ソリューション名を公開する予定であります。

認定ソリューション一覧

認定番号	事業者名	ソリューション名	有効期限
		EDIパッケージソフトウェア名 もしくは EDIサービス名	
CEDI-002	株式会社データ・アプリケーション	ACMS Apex (エーシーエムエス エイペックス)	2026年5月31日
CEDI-003	株式会社データ・アプリケーション	ACMS B2B (エーシーエムエス ビートゥービー)	
CEDI-004	株式会社データ・アプリケーション	ACMS Lite Neo (エーシーエムエス ライトネオ)	
CEDI-005	株式会社データ・アプリケーション	ACMS/WS (エーシーエムエス ダブルエス)	
CEDI-006	株式会社オーガス総研	eCubenetサービス	
CEDI-007	株式会社インテック	EDIアウトソーシングサービス (EINS/EDI-Hub Nex)	
CEDI-008	株式会社TOKAIコミュニケーションズ	JFT/Server (ジェイエフティー サーバー)	
CEDI-009	株式会社TOKAIコミュニケーションズ	JFT/Lite Net (ジェイエフティー ライトネット)	
CEDI-010	株式会社インテック	EDIプラットフォームサービス	

(掲載イメージ)

3. CEDI-WG 2025年度の活動計画

1. 石化協EDI標準(Chem eStandardsとJPCA-BP)の維持管理 **石化協EDI標準の維持管理(標準を利用している企業からの標準改定要請対応)**

①EDIサービス事業者の提供サービスの認定

→各社からの申請内容の確認と認定

②JiEDIAへの参加

→情報収集と必要情報のメンバー各社への共有

CEDI-WGにて提供しているEDI仕様文書の維持・管理

・必要に応じて適宜実施

EDI化の更なる取り組み

・FAX削減に役立つAI OCR等新技術事例の調査 (次ページ)

・次世代データ基盤検討タスクフォースとの情報交換

2. 標準遵守意識の喚起・向上

・EDI入門セミナーの開催 (2026年6～7月頃予定) 及び、
CEDI/ITフォーラムの開催 (2026年5月頃予定)

3. CEDI-WG 2025年度の活動計画

2024年度に行った各社アンケート結果を踏まえ、2024年度は①に取り組みました。
2025年度は②に取り組む予定です。
また、次世代データ基盤検討タスクフォースとの情報共有/連携も検討します。

3. 新体制におけるCEDI-WG活動



<CEDI-WG検討テーマ案>

アンケート内容を踏まえ、以下ピックアップしました。

①FAXのEDI/Web注文化率向上

- ・CEDI-WG活動の目的である、「石化協EDI標準の維持管理」に立ち戻り、JPCA/CeS/WebEDIの普及に向けた障害を調査。改善案を検討する。

②新技術を利用した事例の調査

- ・FAXのAI/OCR/RPA等新技術を利用した自動読み取り、基幹システム等への取り込みによる省力化事例を調査し、活用を検討する。
※中小企業のEDI化推進/FAX削減/FAXによる手作業削減等に活用できる新技術の探索を幅広く調査する。

・CEDiから提供可能なEDI仕様文書一覧

EDI標準	分類	文書形式	文書名	版
JPCA	BP	PDF	石油化学工業協会ビジネスプロトコル標準書	4.1.0
	資料	PDF	テクニカルレポート一覧	-
CeS	BP	Word Excel	Usage Guidelines～日本におけるChem eStandards 利用指針～	2.1.0
	BP	Excel	物流版 Usage Guidelines	1.0
	資料	Word	Chem eStandards™ V4 のメッセージ概要説明	1.0
	システム	Word Excel	CEDI システム導入ガイド	1.3
	システム	Word	Web-EDI 開発ガイドライン	1.1
(JPCA-BP) インターネットEDI移行		PDF	インターネット E D I 移行の手引き、利用ガイドラインSSL/TLS 方式編	1.1.0
(CeS,JPCA-BP) 適格請求書等保存方式対応		PDF	消費税率改定及び適格請求書等保存方式によるCeS及びJPCA-BPの改訂点	-

・次世代データ基盤検討タスクフォース 企画書



CEDI-WG 「次世代データ基盤検討」タスクフォース設置について

2024年12月6日（金）
CEDI-WG/GSCM-WG

目次

1. ご承認いただきたい事項
2. 趣旨
3. 次世代データ基盤検討タスクフォースのミッション

Appendix. GSCM-WG検討資料

1. ご承認いただきたい事項

本日ご承認いただきたい事項は以下 2 点です。

1. CEDi-WG内に新しいタスクフォースを設置
2. GSCM-WGの解消

2. 趣旨

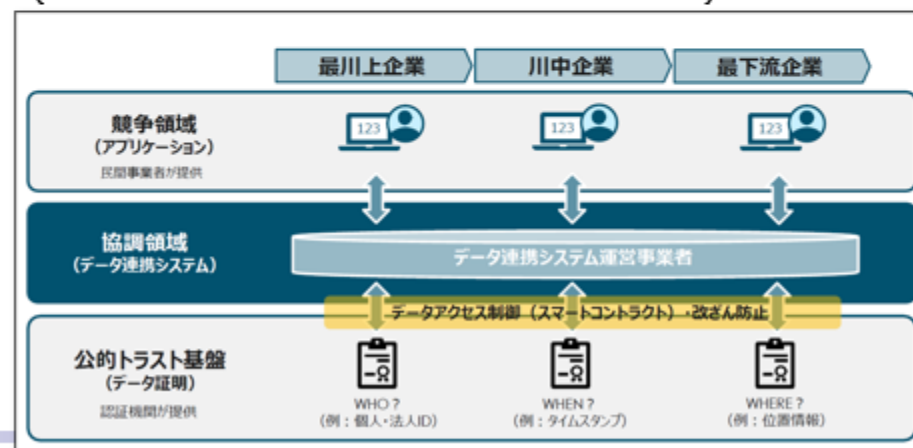
■背景

- ・情報通信委員会ではこれまで、JPCA-BP/Chem eStandards の2つのEDI標準について普及推進してきた。
- ・90年代 JPCA-BP普及 ⇒ 2000年代 CeS普及 と進み、30年以上が経過した。
- ・ファイルEDIの概念はレガシーとなりつつあり、今日ではEUのGAIA-Xや日本のウラノス・エコシステムなど、プラットフォーム型連携が注目されている。
- ・石油化学業界においても、業界横断のCFPデータ連携、物流共同配送などの事例が出始めており、今後プラットフォーム型連携の普及が予想される。

(参考1: JPCA-BP/CeSの歴史)

	1986	1991	1996	1999	2001	2004	現在
石化協EDI標準 (JPCA-BP) インターネット		開発	普及				商社との取引に適用するEDI 標準を開発 日本貿易会と連携して普及 化学、商社などが利用
化学業界 国際EDI標準 (Chem eStandards) インターネット	海外		開発		普及		欧米の大手化学企業30社 (BASF, DuPont, Dowなど)が 米国化学業界EDI標準化組織 CIDX(Cheical Industry Data Exchange) に集結して開発 欧米では 化学、ディストリビュータ、 物流会社など2,000社が利用
	国内		調査	準備	普及		2001年 経産省の補助事業として調査研究 日本化学業界の次世代EDI標準として採用 2002年 国内実用化の準備を開始 2004年 国内での実用化・普及活動を開始

(参考2: 経産省ウラノス・エコシステムの概要より)



2. 趣旨

■プラットフォーム型連携検討のため新タスクフォース設置

- ・近年、従来のPeer to PeerのEDIではない、データ基盤を介した複数企業の連携による社会課題の解決が求められている。先行する欧州GAIA-X、ウラノス・エコシステムでは脱炭素、資源循環を優先課題に掲げており、ユースケースが増えつつある。
- ・GSCM-WGでは、これらプラットフォーム型連携基盤に着目し、情報収集を行ってきた。
- ・データ連携領域はCEDI-WGと関連性が深いため、昨年度よりGSCM/CEDI-WGは協業を模索してきた。
- ・そこで、両WGの活動を融合し、より発展、深化するため、以下方向性で活動することとしたい。
 - ✓ GSCM-WGにて情報収集を行ってきたプラットフォーム型連携基盤については、CEDI-WG内にTFを設置し、これまでの活動成果を引き継ぐ。
 - ✓ CEDI-WGが維持管理する石化協EDI標準の次世代化を念頭に、次世代プラットフォーム型連携基盤の姿を検討する。
 - ✓ GSCM-WGの発展的解消（2024年末を目安に活動を終了する）



3. 次世代データ基盤検討タスクフォースのミッション



■ 目的

先行する欧州GAIA-X、ウラノス・エコシステム、物流共同配送などの情報を基に、石油化学業界の次世代データ基盤のあるべき姿を描くことを目的とする。

■ タスクフォースのゴール

- ・石油化学業界に求められる次世代データ基盤の提言とその実現に向けた企画書を作成する。
- ・企画書はその後のプロジェクト計画書として実施可否を情報通信委員会に諮り、有期のタスクフォースから新たに設置するWGへ引き継ぐ。

3. 次世代データ基盤検討タスクフォースのミッション

■活動期間

- ・活動期間はおよそ1年半とする。
- ・活動①2025/01～12 石油化学業界に求められる次世代データ基盤の提言とその実現に向けた企画書を作成し情報通信委員会へ報告
- ・活動②2026/01～05 今後の活動計画案作成（基盤構築に向けたPJ計画書作成）

2024年			2025年			2026年		
10月	11月	12月	1月	～	12月	1月	～	12月
TF設置準備								
		● 情報通信委員会幹事会 12/2						
		● 情報通信委員会臨時開催 12/6						
		メンバー募集						
			活動①					
						活動②		

3. 次世代データ基盤検討タスクフォースのミッション

■体制イメージ案

情報通信委員会

※敬称略

委員長 : 市村 雄二(三菱ケミカル)

主査 : 佐野 吉邦(三菱ケミカル)

CEDI-WG

リーダー : 河口 貴広
(三菱ケミカル)

次世代データ基盤検討-TF

リーダー : TBD
サブリーダー : TBD

- ・情報通信委員会参加企業にタスクフォース参加メンバーを募集する。
各社 1～2名、合計10名程度を想定
少なくとも5社からの参加をお願いしたい。
- ・参加者よりタスクフォースのリーダーとサブリーダーを選出する。
任命は情報通信委員会幹事会に委ねる。
- ・タスクフォースの開催日時、頻度についてはリーダーとサブリーダーにて
協議の上決定する。



Appendix

欧州と日本で先行する蓄電池の情報連携基盤比較

■ 情報連携基盤における先行ユースケースの日EU対比

日EUで先行する自動車業界の蓄電池に関する情報連携基盤の用語（組織名、サービス名）を対比するとおよそ次の通り。次頁以降で各用語や取り組み内容につき解説する。

		EU	日本
ユースケース	データ戦略、イニシアティブ	GAIA-X	ウラノス・エコシステム
	標準規格	Catena-X	ガイドライン (蓄電池CFP・DD関係) IPA
	運営会社 商品サービス	Cofinity-X	自動車・蓄電池トレーサビリティ 推進センター (ABtC)
	アプリ提供事業者	SAP, SIEMENSなど	株式会社ゼロボード、 株式会社dotDなど

経団連：産業データスペースの構築に向けて

Keidanren

Policy & Action

一般社団法人

日本経済団体連合会

ホーム

経団連について

Policy(提言・報告書)

Action(活動)

[トップ](#) > [Policy\(提言・報告書\)](#) > [科学技術、情報通信、知財政策](#) > 産業データスペースの構築に向けて

Policy(提言・報告書)

科学技術、情報通信、知財政策

産業データスペースの構築に向けて

2024年10月15日

一般社団法人 日本経済団体連合会

【概要】

(PDF形式)

【本文】

(PDF形式／本文の目次は以下のとおり)

1. はじめに：現状および課題

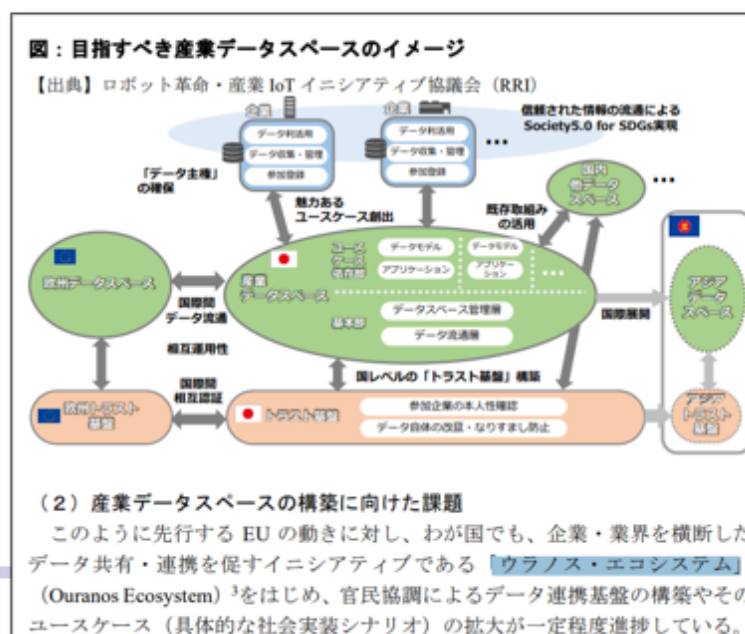
(1) 産業データスペースをめぐるEUの動向

(2) 産業データスペースの構築に向けた課題

2. 産業データスペース構築の意義

・経団連より、産業データスペース構築に向けた提言が発表された。
ウラノス・エコシステムも取り上げられている。

(ご参考)産業データスペースの構築に向けて
https://www.keidanren.or.jp/policy/2024/073_gaiyo.pdf



経産省：フィジカルインターネット実現会議(化学品WG-物流共同配送)



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

ニュースリリース | 会見・談話 | 審議会・研究会 | 統計 | 政策について

ホーム ▶ 審議会・研究会 ▶ ものづくり/情報/流通・サービス ▶ フィジカルインターネット実現会議 ▶
2024年度第1回 フィジカルインターネット実現会議

2024年度第1回 フィジカルインターネット実現会議

開催日
2024年6月26日

開催資料

- 資料1 議事次第 (PDF形式: 65KB)
- 資料2 フィジカルインターネットの実現に向けた取組の進捗 (事務局) (PDF形式: 5,028KB)
- 資料3-1 一般社団法人フィジカルインターネットセンター発表資料 (PDF形式: 3,850KB)
- 資料3-2 北海道大学相浦教授発表資料 (PDF形式: 5,555KB)
- 資料3-3 **フィジカルインターネット実現会議化学品WG事務局発表資料 (PDF形式: 3,183KB)**
- 資料3-4 一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会動脈物流委員会発表資料 (PDF形式: 11,937KB)
- 資料4 医薬品WGの設置について (医薬品WG設置準備事務局) (PDF形式: 1,123KB)
- 資料5 フィジカルインターネット・ロードマップの一部改訂 (事務局) (PDF形式: 665KB)
- 「2024年度 フィジカルインターネット実現会議」出席者一覧 (PDF形式: 135KB)

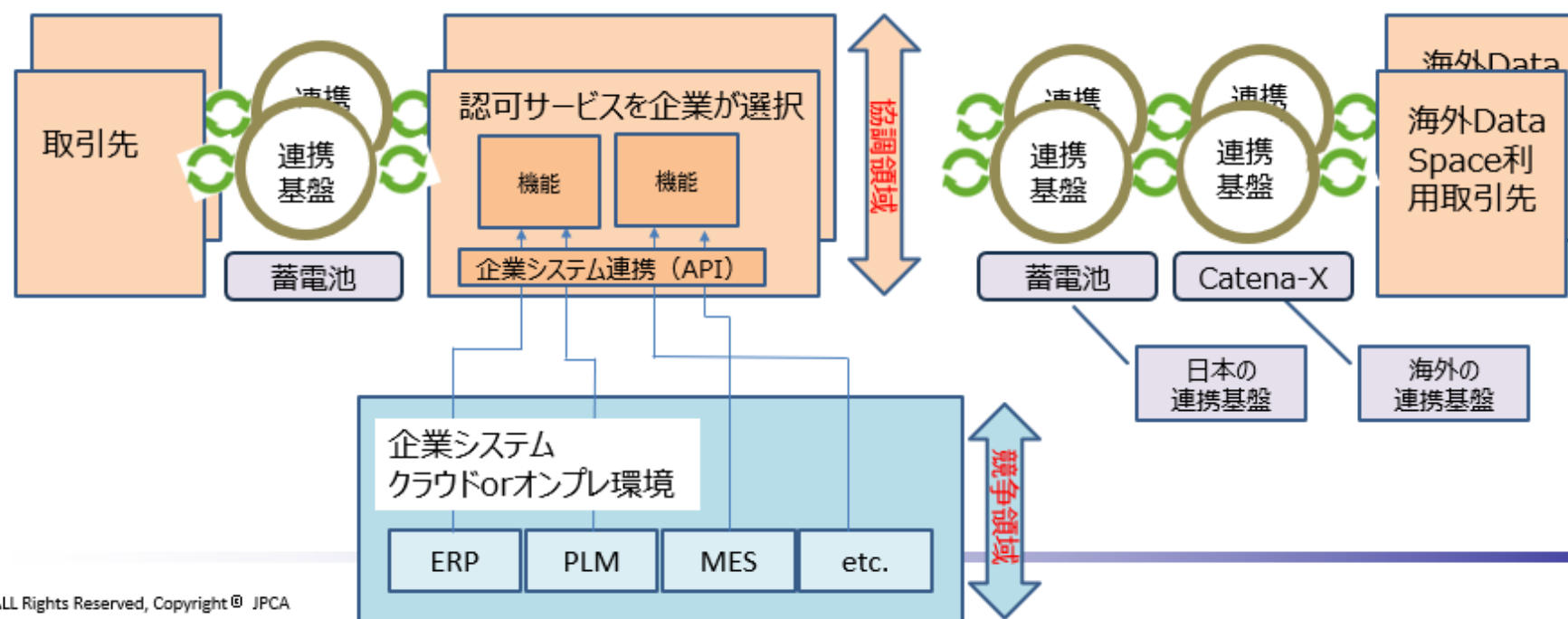
・経産省フィジカルインターネット実現会議の化学品WGにて、物流共同配送を検討中

(ご参考)フィジカルインターネット実現会議
https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/physical_internet/2024_001.html

情報連携基盤の動向とユースケース調査 – 考察 –

情報連携基盤と企業システムの位置づけイメージ

各社の企業システムと認可されたPCF（製品カーボンフットプリント）算定などのサービス及び情報連携基盤であるウラノス・エコシステムにより、データ主権が保たれ情報連携する参加者との相互連携が図られる。



ご清聴ありがとうございました

ご質問等ありましたら、以下までご連絡下さい

参考URL

石化協（CEDi関連資料）

<https://www.jpca.or.jp/cedi/>

お問い合わせは、
CEDI-WG（石化協内）
TEL：03-3297-2011